



## プロセスの中にある学び

校長 中澤 道則

夏休みが終わりました。この夏休み中、7月25日～27日、8月22日～24日の6日間、5年生が「体育実技発表会」に向けての練習を行いました。「体育実技発表会」とは、横浜市内各区の代表の小学校が器械運動や表現などの発表を行う会です。和泉小学校は5年生が参加して、マット運動を披露する予定です。この夏休みはそれに向けて、器械運動を専門にしていた元校長先生を講師にお迎えして練習を行った、というわけです。6日間の練習ではありましたが、メキメキ上達する5年生。子ども達の成長の速さには驚かされるばかりでした。



努力を実らせ、何かを「出来るようになる」ということは、何にしても嬉しいものです。今までできなかった「技」ができるようになった時の、子ども達の笑顔は本当に素晴らしいです。しかし、頑張ってもなかなかできるようにならない場合もあります。それでは、できなければそれまでの努力は無駄なのでしょうか。私はそうは思いません。もちろん、できるようになるのが何よりなのですが、「どうすればできるようになるかな」「どうすればもっときれいにできるかな」と、考える過程（プロセス）の中にたくさんの学びがあるからです。

今、AIがどんどん発達している社会。将来的には多くの「職業」がAIにとってかわられるとも言われています。急激に変化する社会において様々な「予測不能」な事態に直面することもあるでしょう。そんな中で今の子ども達に求められているのは「自分で道を探す力」なのではないでしょうか。まさに「プロセス」こそ学ばなければならないものなのです。人から与えられたものを受け止めるだけではこの「力」は育ちません。自分の力で試行錯誤しながら答えを探すことによってこそ、この「力」は育つのでしょう。

かといって「知識」が必要ないわけではありません。「考える」ためには、多くの「知」のをつなぎ合わせなければなりません。しっかりと基礎的・基本的な「知」を身につけるとともに、それらをつなぎ合わせて考える。これからの社会を創る子ども達には、そんな力を育んでいきたいと思っています。

今年の夏は久しぶりに「強い行動制限」のない夏でした。しかし、「行動制限がない」ということは何でも自由にしてよいということではありません。基本的な「感染予防対策」をしっかりとる必要があることは、変わらないです。夏休み明け、子ども達が学校に帰ってきて3日。明日からは9月です。9月も子ども達が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、教職員一同、努めてまいります。保護者・地域の皆様におかれましては引き続きご理解、ご協力賜りますよう、何卒宜しくお願いいたします。